

## 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

タイトル 農業融資伸長並びに顧客満足度向上に向けた取組み

J A 名 十勝池田町 （北海道）

<b>1 動機</b> （経緯）	畑作・畜産と多種多様な担い手が存在している農業地帯であり、組合員一人一人の C S 向上に向け、事業評価制度や過去 2 回の C S 調査実施結果を基に、融資相談会や事業間連携、生産物のブランド化など、組合員ニーズに応えるべく様々な取組みを行っています。
<b>2 概要</b>	（1）融資個別相談会（経営なんでも相談会）の実施（平成 2 4 年度より年 2 回ペースで開催） 組合員の需資を把握するべく J A 職員（信用部門・営農部門）と組合員が面談形式にて農業資金・生活資金をはじめとし、各種相談に応じるための融資相談会を開催しています。 （2）事業評価制度「農協の通信簿」及び C S 調査の実施 平成 1 9 年度より J A 全体の C S 向上のため、毎年「事業評価制度」（各生産組織等により選出された 5 0 名の評価委員による J A 事業に関する 8 0 項目を評価）を実施、「農協の通信簿」として総会で報告しています。 評価項目は 3 年に一度見直しを行っています。 （3）所得向上・規模拡大に向けた取組み ①事業間連携「指導チーム」 ②法人対応強化「アグリシードファンド・協調融資」 ③ J A 独自資金（乳用牛及び和牛増頭支援事業） ④農畜産物のブランド化
<b>3 成果</b> （効果）	（1）信用部門・営農部門双方の担当職員との関係が深まりグリップが強化されたことから相談会開催時以外にも事前相談が多くなり、適切な融資対応にも繋がっています。 （2）事業評価制度・ C S 調査によって、幅広くニーズを的確に拾い上げることが可能となりました。 （3）指導チームは技術的な指導がメインであるものの、農業融資の受付を担当している営農課も同行することで需資の掘り起こしが可能となったことや、生産資材課からの農機具購入情報や農機具メーカーの営業に関する情報等の部署間連携・情報共有が図られることで融資伸長に繋がっています。 （4）平成 2 5 年度には酪農法人の規模拡大に対し公庫と J A の協調融資（L 資金：1 5 0 百万円、 J A プロパー資金：1 6 百万円）を実行しています。 加えて町とのタイアップによる独自資金も実行しており、地域一体となつての支援体制を構築しています。
<b>4 今後の</b> <b>予定（課題）</b>	政策的に今後増加すると考えられる新規就農者に対する適切な融資対応や、更なる規模拡大が進むと予想される中、組合員のサポートを行える内部体制を構築します。